

保健師実践能力習熟段階 (案)

表2

専門的・倫理的・法的な実践能力

(習熟レベル)		I	II	III	IV	V
		必要に応じ助言を得て実践する	定型的な活動を概ね自立して実践する	状況に応じて判断し実践する	幅広い視野で予測的に判断・実践し、教育・指導的役割を担う	より複雑な状況において、組織や分野を超えた活動を創造し、展開する
専門的・倫理的・法的な実践能力		保健師としての職業倫理と倫理的・法的規範に基づき実践する		対象の状況に応じて倫理的・法的判断に基づき実践する	認識した課題や潜在的リスクの解決に向け、倫理的・法的判断に基づき行動し、教育・指導的役割を担う	より複雑な状況において倫理的・法的判断に基づき行動し、倫理的かつ法律を遵守・活用した実践を創造し、展開する
	責務に基づく実践	自らの行為や結果に責任が伴うことを理解し、助言を得ながら自分に与えられた職務を遂行する。	定型的な活動を概ね自立して行い、行為の根拠や結果の説明も含め、業務遂行に必要な責任を果たす。	課題やリスクを把握し、他者と共有するとともに、状況に応じて自ら判断し、責任を自覚して業務を遂行する。	幅広い視点から地域や組織の課題を予測的に捉え、責任ある実践を展開しながら、改善提案や助言を行う。	複雑で困難な状況においても、組織や分野を超えて責任を果たし、専門性を高めながら新たな仕組みや活動を創造的に展開する。
	倫理的実践	助言を得ながら、人々やコミュニティの多様性・自律性、文化や価値観を尊重して関わり、保健師としての基本的な倫理的配慮を行う。	定型的な活動において、人々やコミュニティの多様性・自律性、文化や価値観を尊重し、倫理的判断に基づいて自立して実践する。	すべての人々が健康で安全な生活を送る上で生じる倫理的課題に気づき、保健師として判断し、対象や関係者と協働して適切に対応する。	幅広い視野から健康格差や倫理的課題を予測し、指導・教育的役割を担う。	社会的な不公正や複雑な倫理的問題に対し、すべての人々の健康で安全な生活を保障する立場から組織や分野を超えて解決に参画し、実践を創造・展開する。
	法に基づく実践	基本的な法令や所属組織等の規範を理解し、助言を得ながら、保健師として活動する。	定型的な活動において、概ね自立して、基本的な法令や所属組織等の規範に基づき保健師として活動する。	・人々の健康に関する権利をまもるために、状況に応じて法的判断に基づいて保健師として活動する。 ・法令遵守を徹底するとともに、逸脱のリスクがある場合には問題提起を行う。	・顕在的・潜在的リスク双方の解決に向け、法的判断に基づき活動を展開する。 ・組織における法令遵守体制を強化し、周囲に対して模範を示す。	より複雑で新しい状況においても、法令を遵守・活用し、組織や分野を超えた体制整備や制度改革に参画する。

ヘルスプロモーションの実践能力

		I	II	III	IV	V
(習熟レベル)		必要に応じ助言を得て実践する	定型的な活動を概ね自立して実践する	状況に応じて判断し実践する	幅広い視野で予測的に判断・実践し、教育・指導的役割を担う	より複雑な状況において、組織や分野を超えた活動を創造し、展開する
ヘルスプロモーションの実践能力		ポピュレーションベースの原則を理解し、必要に応じ助言を得て、人々・コミュニティの特性や健康課題の把握、基本的な個別・集団への健康支援を行う	人々・コミュニティの健康課題の解決改善と対象の強み・自律性の増進に向けて、必要に応じ助言を得て多様で複雑な個別・集団・組織の事例への健康支援を概ね自立して行う	健康課題の優先度を判断し、人々・コミュニティの特性に応じて、多様で複雑な個別・集団・組織の事例への健康支援を自立して継続的に行う	総合的かつ中長期的な視点で予測的に判断し、ポピュレーションベースの原則に基づき、人々・コミュニティ全体の健康を促進し、その実践を通じて教育・指導的役割を担う	人々・コミュニティの健康課題を包括的に捉え、対象と環境の双方に効果的・効率的に働きかけ、組織や分野を超えて、優先度の高い事象に対する活動を臨機応変に創造・展開する
	コミュニティマネジメント	助言を得ながら人々・コミュニティの特性や実態を把握し、コミュニティ全体を捉えて必要な活動の計画立案・実施・評価までの一連のプロセスと関連付けて考え、健康課題を抽出する。	人々・コミュニティの健康課題を抽出し、コミュニティ全体の変容を促すために必要な活動の計画・実施・評価・改善の一連のプロセスを必要に応じて助言を得ながら実践する。	コミュニティ全体を総合的に捉え、人々・コミュニティの健康課題と特性に応じて、活動の優先度を判断し、コミュニティ全体の変容を促すための活動を計画・実施・評価し、改善策を検討する。	人々・コミュニティの健康課題を予測し、ケアシステムの観点も含め、コミュニティ全体の変容を促すための活動を展開し管理する。その実践を通じて教育・指導的役割を担う。	人々・コミュニティの健康課題を包括的に捉え、コミュニティ全体の健康を促進するために対象と環境の双方に効果的・効率的に働きかける活動を継続的に創造・展開し、マネジメントを行う。
	アセスメントと分析	① 個人・家族 助言を得ながら、個人・家族の価値観や生活実態、社会・環境面等から、多面的に情報を収集し、個人・家族の顕在的・潜在的なニーズ・リスクをアセスメントし、社会的決定要因を検討する。 ② コミュニティ 助言を得ながら、地区・組織活動や個人・家族への支援を通じて得られた様々な情報を関連づけて整理・分析し、コミュニティの顕在的・潜在的なニーズをアセスメントし、社会的決定要因を検討する。	① 個人・家族 概ね自立して、収集した情報を統合して多様で複雑な個人・家族の特性や健康状態を包括的にアセスメントし、対象の強みを踏まえて、顕在的・潜在的なニーズ・リスクと優先度を検討する。 ② コミュニティ 概ね自立して、個人・家族の顕在的・潜在的なニーズ・リスクと、地区・組織の資源や既存のエビデンスなどの様々な情報を連続的・重層的に関連づけてアセスメントし、コミュニティの顕在的・潜在的なニーズを明確化する。	① 個人・家族 多様で複雑な個人・家族の特性や実態を多角的に捉え、情報を統合して包括的にアセスメントし、顕在的・潜在的なニーズ・リスクを明確化し、優先度と予防的な介入の必要性を判断する。 ② コミュニティ 意図的に収集した様々な情報を整理・分析し、個人・家族の顕在的・潜在的なニーズ・リスクとコミュニティの顕在的・潜在的なニーズを連続的・重層的に関連づけて総合的にアセスメントし、コミュニティ全体の健康課題の優先度と予防的な介入の必要性を判断する。	① 個人・家族 多様で複雑な個人・家族の健康課題を幅広い視野で予測的にアセスメントし、将来にわたる顕在的・潜在的なニーズ・リスクを明確化し、優先度を判断して活動の方向性を明示する。その実践を通じて他者への教育・指導的役割を担う。 ② コミュニティ 幅広い視野で様々な情報を関連づけて分析した結果を基に、コミュニティ全体の健康課題を予測的に判断・明確化し、将来にわたるコミュニティ全体の健康を促進するための活動の方向性を明示する。その実践を通じて、他者への教育・指導的役割を担う。	① 個人・家族 個人・家族の複雑かつ緊急性の高い健康課題に対しても、臨機応変に包括的に事象を捉え、組織や分野を超えた連携・協働のもと、社会的決定要因の分析結果を踏まえて優先度を組織的に判断して活動の方向性を明示し、実践につなげる。 ② コミュニティ コミュニティの複雑かつ緊急性の高い健康課題に対しても、臨機応変に組織的かつ包括的に事象を捉え、組織や分野を超えた連携・協働のもと、社会的決定要因の分析結果を踏まえて対象と環境の双方への働きかけの優先度を組織的に判断して活動の方向性を明示し、実践につなげる。
	健康増進・予防活動	① 個人・家族 助言を得ながら、個人・家族との信頼関係を構築し、個人・家族の持つ力・強み、価値観・主体性を尊重して意思決定を支援し、対象の特性や実態に応じて基本的な伴走型の健康支援を実践する。 ② コミュニティ 助言を得ながら、コミュニティの持つ力・強みを見出して、関係者・キーパーソン等とともに、コミュニティや地区・組織の特性や実態をふまえた力量形成に資する効果的な健康支援の方策を検討する。	① 個人・家族 個人・家族との信頼関係を構築し、意思決定を支援し、対象の力量形成に向けて、特性や実態に即した健康支援や予防的な活動を概ね自立して実践する。 ② コミュニティ 関係者・キーパーソン等とともに、コミュニティや地区・組織の特性や実態を踏まえた力量形成に資する効果的な健康支援の方策と予防的な活動を検討・提案し、概ね自立して実践する。	① 個人・家族 多様で複雑な状況にある個人・家族の持つ力・強みを引き出して信頼関係を構築し、価値観・主体性を尊重して意思決定を支援し、対象の力量形成に向けて、特性や実態に即した効果的な健康支援や予防的な活動を自立して検討・実践する。 ② コミュニティ コミュニティや地区・組織の持つ力・強みを引き出して関係者・キーパーソン等とパートナーシップをもって、コミュニティや地区・組織の特性や実態を踏まえた力量形成に資する効果的な健康支援と予防的な活動を自立して継続的に検討し、実践する。	① 個人・家族 個人・家族の特性や実態、持ち得る力・強みを幅広い視野で予測的に判断・明確化し、対象や関係者とのパートナーシップをもって対象の力量形成や、健康なコミュニティづくりのための効果的な健康支援や予防的な活動を組織的に実践する。 ② コミュニティ コミュニティや地区・組織の特性や実態、持ち得る力・強みを幅広い視野で予測的に判断・明確化し、関係者・キーパーソン等とのパートナーシップをもって、地区・組織の力量を形成し、健康なコミュニティづくりのために効果的な健康支援と予防的な活動を組織的に実践する。	① 個人・家族 複雑かつ緊急性の高い状況にある個人・家族の特性や強みを活かして力量形成し、対象と環境の双方に効果的・効率的に働きかける支援方策を見出し、健康なコミュニティづくりのために持続可能な支援・活動を組織的に創造し展開する。 ② コミュニティ コミュニティや地区・組織の特性や強みを活かして力量形成し、組織や分野を超えて、健康なコミュニティづくりのために持続可能な支援・活動を組織的に創造し展開する。
	調整と連携・協働	① 個人・家族 個人・家族とその関係者と共に、健康支援の目的・方向性を共有し、助言を得ながら、連携・協働が必要な他職種・他機関を抽出して目的を共有し、自身の役割・機能を把握した上で基本的な実践を行う。 ② コミュニティ コミュニティにおける各機関・組織の役割・機能を把握し、助言を得ながら、信頼関係を基盤に合意形成に向けて目指す方向性を共有する。	① 個人・家族 多様で複雑な状況にある個人・家族とその関係者と共に、健康支援の目的・方向性を共有し、必要な合意形成や課題解決に向けて各々の役割・機能を明確化した上で役割分担し、概ね自立して支援を調整し、連携・協働する。 ② コミュニティ コミュニティにおける各機関・組織の役割・機能を理解し、信頼関係を基盤に課題解決に向けて合意形成を図り、自身の役割を発揮しながら連携・協働を促す。	① 個人・家族 多様で複雑な状況にある個人・家族とその関係者と共に、課題解決に向けて必要な合意形成や折衝を行い、各々の役割・機能を引き出し共通認識した上で、自立して継続的に支援を調整し、連携・協働する。 ② コミュニティ コミュニティにおける各機関・組織の役割・機能を踏まえ、パートナーシップをもって課題解決に向けて合意形成し、自身の役割を発揮して支援を調整し、自立して連携・協働体制を構築する。	① 個人・家族 個人・家族とその関係者間で、課題解決に向けて必要な合意形成を導き、役割分担して各々が役割・機能を発揮し、継続的に支援を調整し、連携・協働を促進する。・支援調整や連携・協働について教育・指導的役割を担う。 ② コミュニティ コミュニティ全体の健康課題を各機関・組織と共通認識し、必要に応じてリーダーシップを発揮して、課題解決に向けて各々の役割・機能を強化し連携・協働体制を計画的に推進する。	① 個人・家族 複雑かつ緊急性の高い状況にある個人・家族に対し、課題解決に向けて合意形成を導き、各々の役割・機能を強化し、継続的に支援を調整して持続可能な連携・協働体制を組織横断的に構築・展開する。 ② コミュニティ コミュニティ全体の健康課題の解決に向けて、リーダーシップを発揮してコミュニティ全体の健康を促進する効果的・効率的な取り組みを調整し、組織や分野を超えた連携・協働体制を構築・創造し展開する。
	ケアシステム（※3）の構築	人々・コミュニティの健康に資するケアシステム構築の必要性を理解した上で、人々・コミュニティの実情を踏まえ、関連する事業や制度、社会資源等を把握し、助言を得ながら必要な事業を実施する。	人々・コミュニティの健康支援のための事業化・施策化やネットワーク化の一連の過程を理解し、概ね自立してそれらの実施・運営に携わるとともに、今後必要な対応を検討する。	人々・コミュニティの健康支援に必要な事業・施策や社会資源を見出し、自組織内での理解を得て事業化・施策化やネットワーク化に向けて、実施体制を整備する。	健康格差の是正やコミュニティ全体の健康の促進に向け、必要な事業や施策、社会資源を幅広い視野で捉え、対象や関係者と協働してケアシステムを改善し、必要に応じて新たなケアシステムを構築する。その実践を通じて、教育・指導的役割を担う。	コミュニティ全体を包括的に捉え、事業、施策、社会資源、ネットワーク等のケアシステムが最適な形で持続・発展するよう、組織や分野を超えて活動を展開し、将来を見据えて必要なケアシステムを構築・創造する。

公衆衛生看護管理能力

		I	II	III	IV	V
(習熟レベル)		必要に応じ助言を得て実践する	定型的な活動を概ね自立して実践する	状況に応じて判断し実践する	幅広い視野で予測的に判断・実践し、教育・指導的役割を担う	より複雑な状況において、組織や分野を超えた活動を創造し、展開する
公衆衛生看護管理能力		必要に応じ助言を得て公衆衛生看護活動の展開を管理する	標準的な公衆衛生看護活動を自立して展開し、管理する	対象の状況に応じた公衆衛生看護活動の推進のためにリーダーシップを発揮し、活動展開・管理する	幅広い視野で予測的に判断し、より広域の公衆衛生看護活動の展開・推進に向け次世代の社会資源・人的資源を開発し管理する	より複雑な状況において、効果的・効率的な公衆衛生看護活動の展開を推進するために、組織や分野を超えて活動を創造し、統括的に管理・調整する
	情報・科学技術の活用と管理	・活動から人々・コミュニティの健康課題につながる質的・量的データを把握、整理し説明できる。 ・保健活動上知り得た個人情報、及び業務に係る情報・文書を適切に管理する。 ・ICT等の情報・科学的技術の活用に必要な情報セキュリティの基礎知識を説明できる。	・健康情報の質的・量的データを分析した結果を保健活動の立案・実施・評価に活用する。 ・実践に活用できるICT等の情報・科学技術について情報収集・整理を行う。 ・研究的手法を意図的に用いて活動を評価する。	・様々な健康情報を効果的・効率的に収集・分析し、結果を活用・管理する。 ・根拠に基づきICT等の情報・科学技術を活用する。 ・研究的手法を用いて活動・事業評価を行い、エビデンスに基づき実践する。 ・情報の活用・管理においてリーダーシップを発揮し、実践の質改善につなげる。	・エビデンスに基づく実践に向けて幅広い視野で予測的に様々な関連情報を分析し、大学等の関係機関と連携した研究活動を行う。 ・ICT等の情報・科学技術を効果的・効率的な活動の推進に活用する。 ・情報管理に関する不測事態に対応する。	・健康課題の解決及びエビデンスに基づく実践と質評価・改善に向けて、組織や分野を超えて様々な健康情報を集約し管理できる体制を整備する。 ・公衆衛生看護活動の展開を推進するために必要なICT等の情報・科学技術のあり方を検討し、今後に向けた課題感を発信する。
	人材育成・人材管理	組織の現状を踏まえ、どのような人材が人々・コミュニティの健康づくりに貢献できるのかを理解し活動に活かす。	人々・コミュニティの健康づくりに貢献できる人材の育成や配置のあり方と、組織的な人材確保・配置・定着の重要性を理解し、活動する。	組織の現状を踏まえ、実践を通じて、求められる保健師の人材育成・配置に関する課題を抽出し、見直し方策を検討・提案する。	中長期的に必要な公衆衛生看護活動の展開・推進に資する保健師の確保・育成と配置・定着に向けて計画を立案、実施、評価する。	公衆衛生看護活動の展開・推進に資する人材の活用を検討し、体系的・組織的な体制を整備し、人事管理・調整を行う。
	健康危機管理	・健康危機管理に関する関係法規、計画、マニュアル等を理解し、健康危機発生時において助言を得ながら必要な活動を実践する。 ・平時から健康危機管理の視点を持って活動する。	・健康危機発生時において、必要な活動を概ね自立して実践する。 ・健康危機の発生要因を分析し、次の健康危機に備えて必要な予防活動を実践する。	・健康危機発生時において、変化する状況を分析、見える化し、迅速的確に判断・対応し、必要な体制整備を提言する。 ・平時における保健活動や体制整備のあり方を提言する。	・健康危機発生時において、幅広い視野で予測的に判断し、広域の公衆衛生看護活動を展開・推進する。 ・健康危機発生時の活動を評価し、根拠に基づく改善策や新たな事業・体制整備を企画するなど組織的に活動展開する。	・健康危機発生時は、組織や分野を超えて連携体制を調整・構築する。 ・新たな健康危機に備えて、平時の体制を整備・創造し、活動を推進する。
	組織マネジメント	・効果的な保健師活動の実践に向けて、ミッション・ビジョン、組織の一員としての役割を理解した上で実践する。 ・保健師活動に係る予算区分や執行状況等を理解した上で活動する。	・ミッション・ビジョンや各種計画を踏まえ、効果的な保健師活動のために活動の優先順位を判断して必要な体制を提案し、整備・構築を進める。 ・助言を得ながら、保健師活動に係る予算編成・執行管理に携わる。	・組織の現状を踏まえ、保健師活動を推進するための体制を評価し、活動の質を管理する。 ・自立して、保健師活動に係る予算編成・執行管理・評価を行う。	保健医療福祉に係る国の動向と現行施策の評価を踏まえ、保健師活動の更なる推進に向けて体制・活動・予算等を総合的に評価・管理する。	・保健師活動の発展・創造に向けて、組織や分野を超えて働きかけ、持続可能な体制を整備・構築し、保健師活動のビジョンを示して統括的に管理・調整する。 ・求められる組織のミッション・ビジョンの方向性を提言し、その実現に向け組織の意思決定者や関係者等に働きかけ、組織の成長や活動の発展を促進する。

専門職としての自律と専門性の開発能力

		I	II	III	IV	V
(習熟レベル)		必要に応じ助言を得て実践する	定型的な活動を概ね自立して実践する	状況に応じて判断し実践する	幅広い視野で予測的に判断・実践し、教育・指導的役割を担う	より複雑な状況において、組織や分野を超えた活動を創造し、展開する
専門職としての自律と専門性の開発能力		専門職として自律し、継続して自身の保健師としての資質・能力の向上を図る		自身の保健師としての資質・能力の向上を図るとともに、健康な地域社会の実現に向け、実践を振り返り、洗練する	獲得した専門知識・技術を活かし、組織の質の向上に貢献するとともに、保健師の専門職組織等（職能団体や学会等）を通じて活動推進・発信する	未来を志向し、公衆衛生看護のプロフェッショナルとして社会の変革・創造や専門的知識・技術の開発に貢献する
	専門性の強化と社会貢献	・社会の動向に係る学習に自ら取り組み、専門的知識や技術の向上を図る。	・活動を通して自身が習得すべき専門的知識・技術を把握し、習得する。	・組織、社会が期待する専門職としての役割を発揮できるよう、自身の専門的知識・技術の更新を継続し、実践に活かす。	・自身の専門的知識・技術を活かし、専門職組織等（職能団体や学会等）の活動を通じた公衆衛生看護活動の推進・発展に貢献するとともに、チームとしての力量形成に貢献する。	・自身の専門的知識・技術をもって未来を見据えた看護や保健に関連する制度・政策の改善・決定に携わり、健康な地域社会の実現と保健師職能の質の向上に貢献する。
	科学的探究と創造	・助言を得ながら、保健師として関わる個別事例や事業等において起こる物事・事象の背景要因や根拠を探索する。	・研究的手法・思考をもって顕在化している問題だけに捉われず、多種多様な要因の関連性を検討する。 ・日頃の活動を評価し取りまとめ、関連する学会等への参加により、科学的根拠を導く一連の流れを概ね自立して実践する。	・地域社会、人々・コミュニティの変化を捉え、問題が発生している要因を多角的に分析する。 ・エビデンスに基づき自身や組織の実践の質の評価と改善を行う。 ・関連学会等を通じて新たな知見や技術を取り入れ実践する。	・新たな知見や技術を取り入れ実践を検証し、活動の成果を可視化することでエビデンス構築・蓄積に貢献する。 ・実践の根拠を探索した結果を関連学会や保健師の専門職組織等（職能団体や学会等）の活動を通じて他の保健師と共有し、自身と組織の質の向上に貢献する。	・変化する地域社会を捉え、未来を見据えて保健師の専門的知識・技術を開発・創造する。
	生涯学習とウェルビーイングの向上	・生涯学習の重要性について認識を深め、自身の専門職としての成長を描く。 ・専門職として活動するための基盤として、自身のウェルビーイングを向上する方策を模索する。	・自身の実践や能力を振り返り、適宜周囲の人々からのフィードバックも得て、学習を自ら計画的に行う。 ・ウェルビーイングに向けて、自身の心と体の管理を行う。	・自身のキャリアデザインを考え、各時期に応じて必要な学びを捉え、自己研鑽する。 ・セルフケアを継続し、ウェルビーイングにつながる環境づくりを考え、行動する。	・自身のキャリアの中長期的展望を描き、その展望に応じた多様な学びを継続し、周囲に働きかけ共に学び合う。 ・自身のウェルビーイングの維持向上を継続する。	・自身の生涯学習の成果やウェルビーイングと、地域社会のウェルビーイングの双方向の関係性の成立に向けて行動する。